

CCSLOAD と ICD-U64 のインストールレーション

1. CCS ソフトウェアを CD、又は、ダウンロードしたものからインストールして下さい。:

<http://www.ccsinfo.com/downloads.php> から CCSLOAD (Windows Version)

又は、

CD-ROM の ccsload フォルダのなかの setup_ccsload.exe

これらのソフトウェアのデフォルトのディレクトリは CCS のコンパイラと同じディレクトリです。もし、CCS コンパイラをご使用の場合は、共通ファイルが同じバージョンを使用する様に同じディレクトリを使用して下さい。

ハードウェアのセットアップ方法はデバイス・プログラマによって違いますので、下記の詳細をご覧ください。:

2. もし、USB インターフェースのデバイス・プログラマをご使用の場合は、Windows USB ドライバをインストールして下さい。CD 又は、下記よりダウンロードして下さい。:

<http://www.ccsinfo.com/downloads.php> から

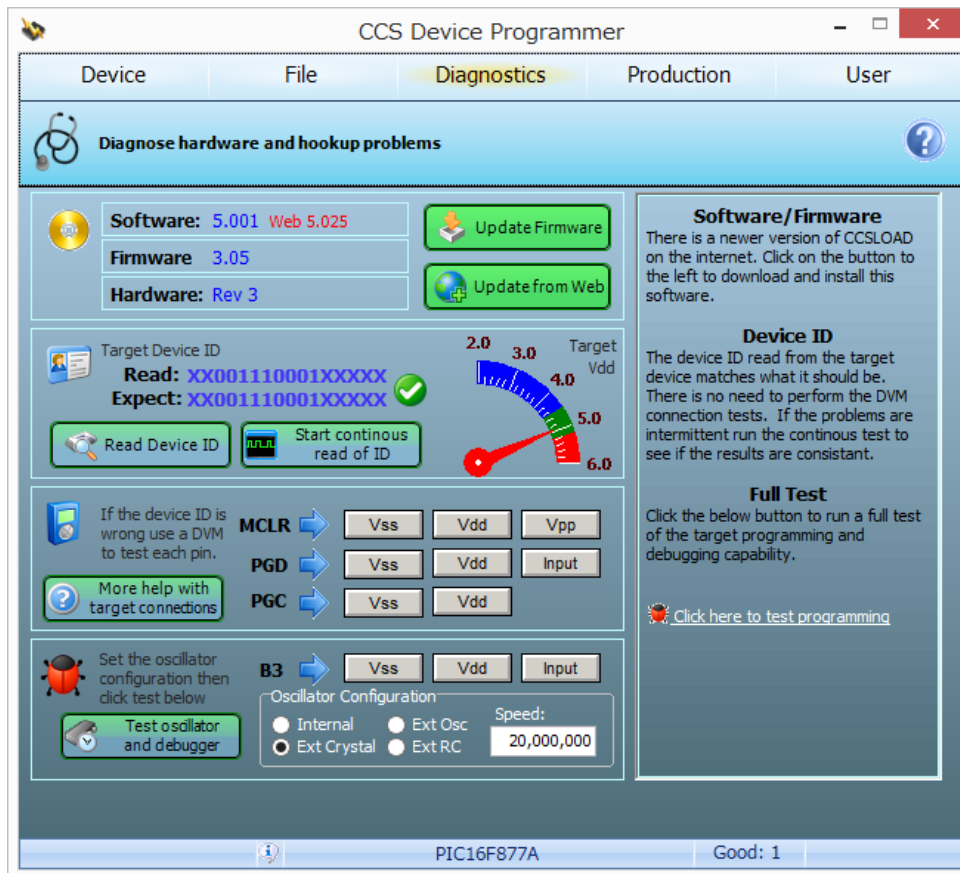
又は、

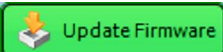
CD-ROM の USB-Driver フォルダのなかの usbdriers.exe

インストールレーションの前には決してプログラマは接続しないで下さい。

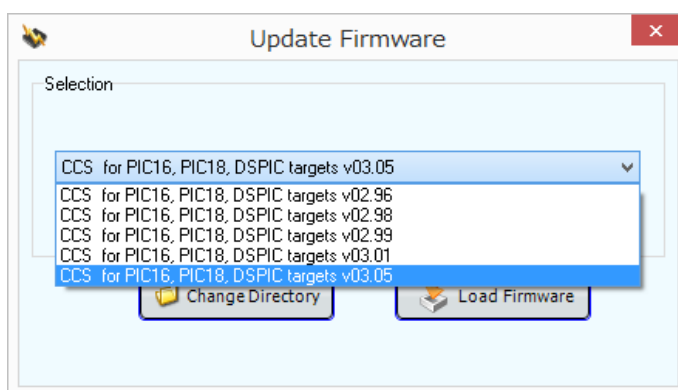
CCSLOAD のアイコン をクリックして CCSLOAD を立ち上げ状態を確認しておいて下さい。

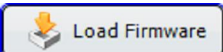




ファームウェアが古い場合は  をクリックしてファームウェアのアップデートを行って下さい。

ファームウェアは下記のように SW をインストールすることで内蔵されています。



で  をクリック
Yes をクリック

ファームウェアのロードには暫く時間が掛りますが、下記のように Firmware が変わります。

User をクリックすると下記の画面になります。Test for Chip でターゲットとの接続をテストすることができます。下記の画面のように Target Passed とターゲット名が数秒表示されます。



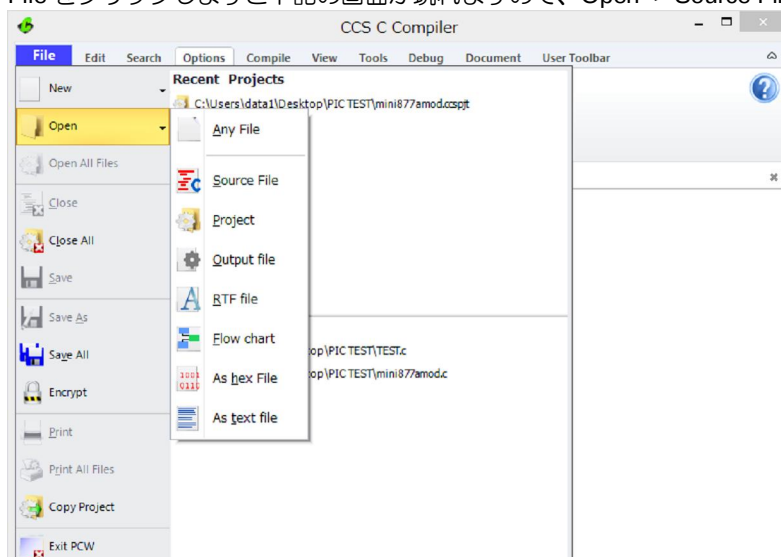
Testing Target が Target Detected に表示されます。

ICD-Uxx をデバッガとして使用する場合は IDE 版 C コンパイラを立ち上げて IDE からご使用下さい。

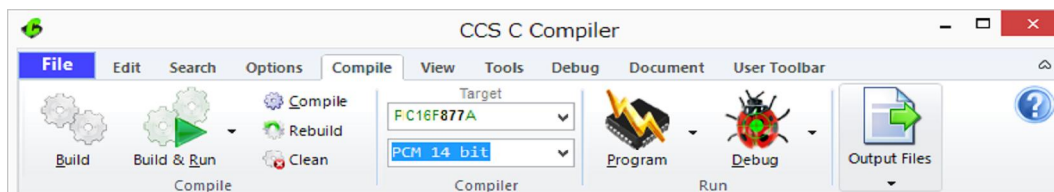
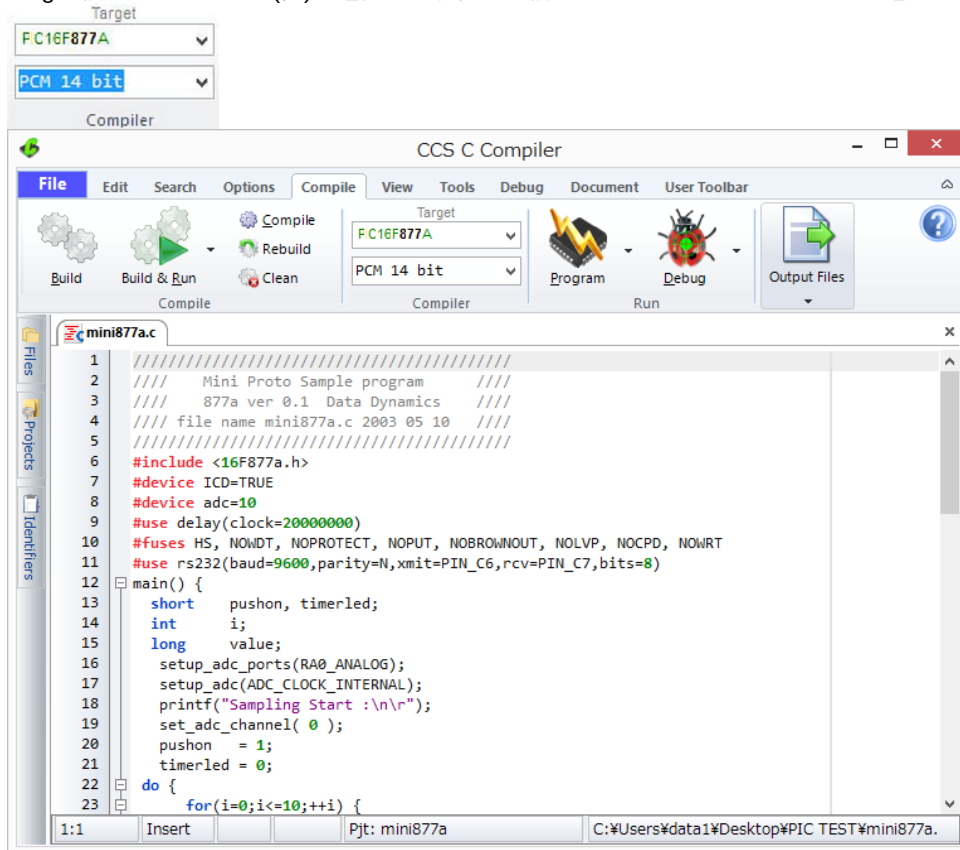


をクリックし、PCW(PCW,PCWH,PCWHD)を立ち上げます。

File をクリックしますと下記の画面が現れますので、Open -> Source File でソース・ファイルを選択

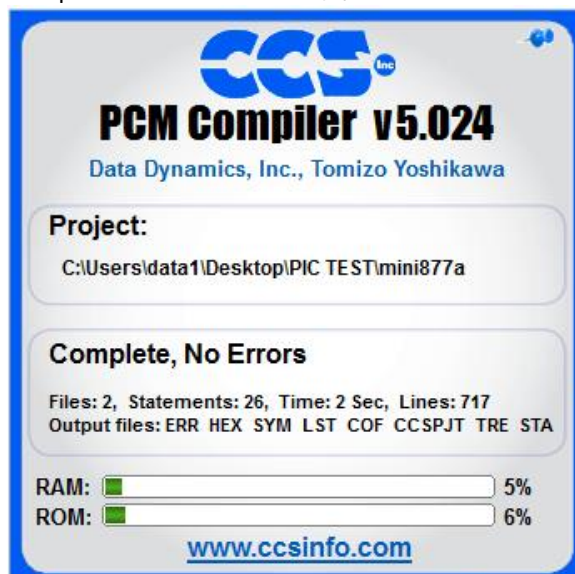


Target 欄で PIC16F877A(例)を選択します。下の欄でも PCM になっていることを確認して下さい。



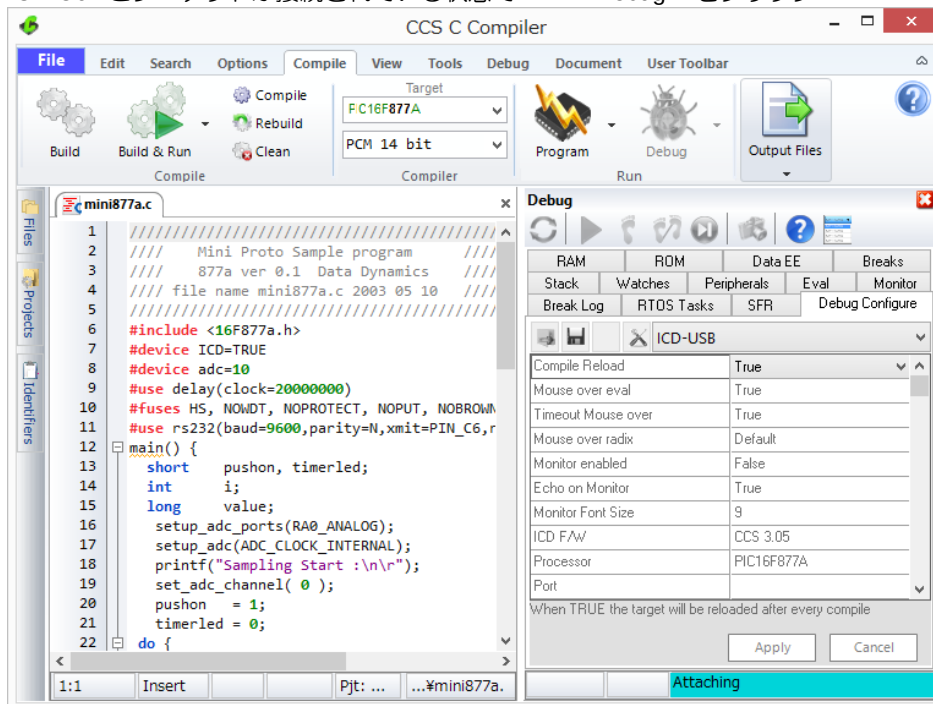
 **Compile**

Compile ->でコンパイルします。

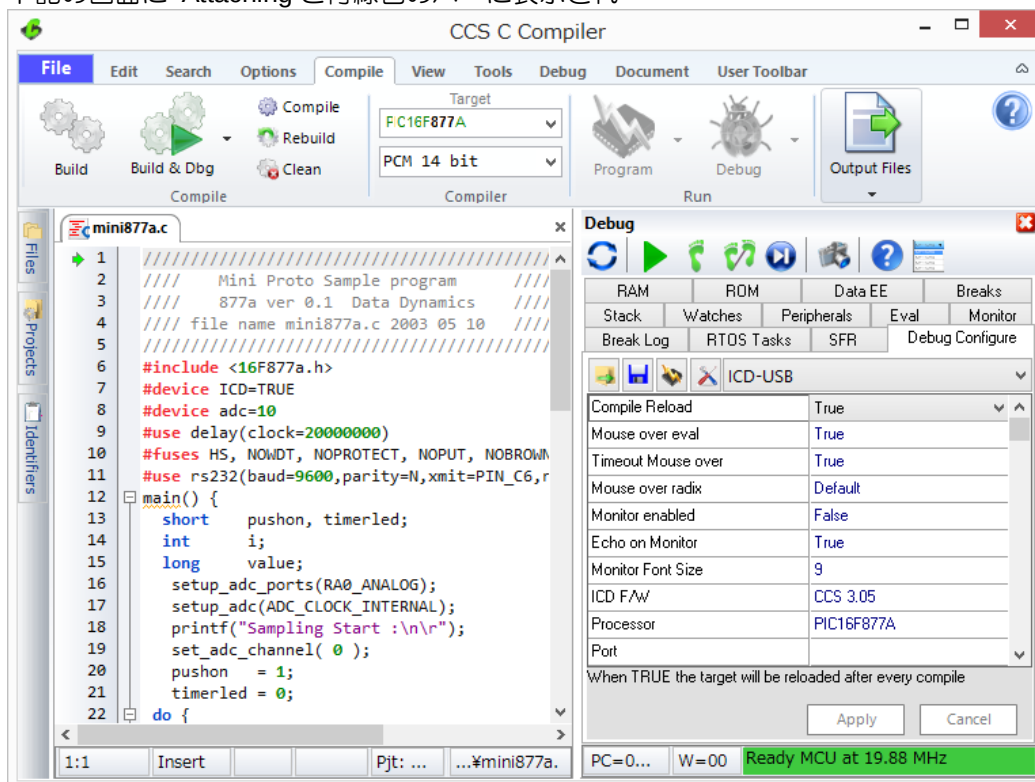




ICD-U64 とターゲットが接続されている状態で **Debug ->** をクリック



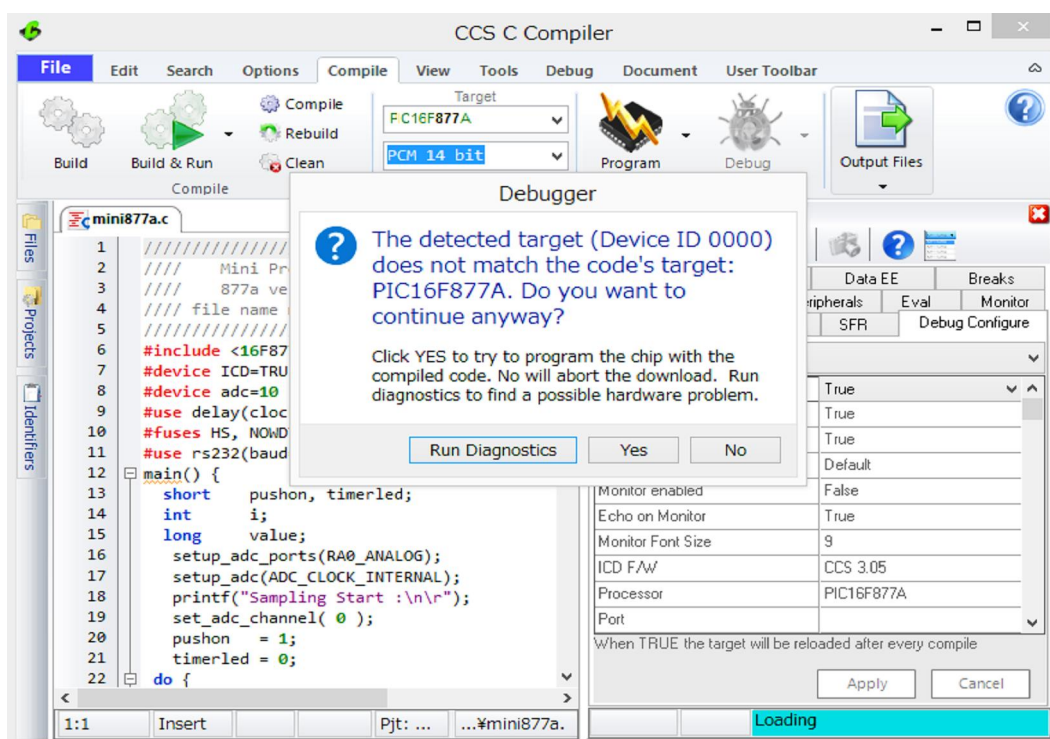
下記の画面に **Attaching** と青緑色のバーに表示され



Ready MCU at 19.88 MHz と表示に代わります。
これでデバッグが可能となります。

トラブルシューティング：

ターゲットに電源供給がされていない場合、以下の様な画面が出ます。



テクニカル・サポートは **E-mail** でお願い申し上げます。

(有)データダイナミクステクニカル・サポート **E-mail** アドレス: support@datadynamics.co.jp

ご質問の前に下記の **FAQ** をご覧下さい。

<http://www.datadynamics.co.jp/ccsc/faq.html>

有限会社データダイナミクス及び、その取扱メーカーは製品及び、部品の出荷時に損傷があった場合はお取替えさせていただきます。
又、出荷より1年間は下記の場合を除き無償で修理致します。但し、別記されている場合は保証の限りでは有りません。
変換 IC ソケットは2週間以内、センサーやケーブルは6ヶ月とさせていただきますのでご了承ください。

■ 次のような場合には、保証期間内でも有償修理とさせていただきます

- 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- 破損、汚損、水濡れ等の偶然な事故による故障及び損傷
- 消耗部品の自然な消耗、劣化による故障及び損傷
- 地震、水害、落雷、その他の天災地変及び、火災、異常電圧、通信回線の異常等を含むその他の外部要因による故障及び損傷
- 本来の目的以外に使用されたとき
- その他、弊社の判断に基づき、無償保障が認められない場合

■ 有効範囲

✓ 日本国内においてのみ有効

■ 保証期間経過後の修理は、有償にて承ります

上記を含む使用後に発生した損失や損害についてその使用上の責任は一切、有限会社データダイナミクス及び、それぞれの製造者は責任を負いません。
商品を受け取り、開封の上使用された場合は、上記の免責事項を承諾されたものと致します。

製品取り扱い上のお願い：

ハードウェア、ソフトウェア及び、装置(以下、本製品と言うに関する情報等、本資料の掲載内容は技術の進歩などにより予告なしに変更されることがあります。

価格は為替変動、国際運送状の予測出来ない事故や災害により予告なしに変更されることがあります。

マニュアル等は当社の事前の承諾なしに本資料の転載複製を禁じます。また、文書による当社の事前の承諾を得て本資料を転載複製する場合でも記載内容に一切変更を加えたり削除しないで下さい。

信頼性の向上に努めていますが、コンパイラや半導体や半導体書き込み装置は一般に誤作動、又は、故障する場合があります。本製品をご使用頂く場合は、本製品の誤作動や故障により生命・身体・財産が侵害されることの無い様に、お客様の責任において、お客様のハードウェア・ソフトウェア・システムに必要な安全設計を行うことをお願いします。なお、設計および使用に際しては本製品に関する最新の情報(本資料、仕様書、データシート、アプリケーションノート、半導体信頼性ハンドブックなど)及び、本製品の取扱説明書、操作説明書などをご確認の上、これに従って下さい。また、上記資料等に記載の製品データ、図、表などに示す技術的な内容、プログラム、アルゴリズムその他、サンプル・プログラム、応用回路例などの情報を使用する場合は、お客様の製品単独およびシステム全体で十分に評価し、お客様の責任において適用可否を判断して下さい。

日本語マニュアルやソフトウェアの日本語は補助的なものであり、疑わしい時は英文のデータシート、マニュアルやソフトウェアの英語版とそのヘルプでご確認下さい。